

# ふじぎくら



地域における男女共同参画実践活動支援事業  
第1回ネットワーク会議 (1月9日)



ライフデザイン研修講師派遣事業 (10月8日)

## 目次

- 特集『やまなし企業子宝率調査』……………2
- 地域における男女共同参画実践活動支援事業……………4
- ライフデザイン研修講師派遣事業……………7
- 我が社のワークライフバランス……………8
- チャレンジインタビュー……………9
- 女性に対する暴力をなくす運動……………10
- 日本女性会議2014札幌……………11
- NWECフォーラム……………11
- 県からのお知らせ……………12





## H26年度 やまなし企業子宝率調査を実施しました!

### 企業子宝率とは?

企業の従業員(男女問わず)が、その企業<sup>在職中</sup>に持つと見込まれる子どもの数を表すものです。子宝率が高い企業は、子持ちの従業員が多く勤務し、子育てしながら働きやすい職場づくりが進められていると考えられます。

企業子宝率は、内閣府少子化危機突破タスクフォース政策推進チームリーダーである渥美由喜<sup>あつみなおき</sup>氏が「子育てと仕事の両立」を示す指標として提唱したものです。

### 調査の概要

県内企業が、子育て支援や働きやすい職場づくりのために進めている様々な取組について調査を行い、子宝率が高く取組が他のモデルとなる企業については、「やまなし子宝モデル企業」として県内外に広くPRを行います。



**調査期間** : 平成26年8月25日～9月30日

**調査対象** : 県内に事業所のある常用雇用者10人以上の企業

**調査内容** : ①59歳以下の従業員の年齢とその子どもの年齢  
②子育て支援や働きやすい職場づくり等の取組内容

### コメント：渥美由喜<sup>あつみなおき</sup>氏

(株)東レ経営研究所ダイバーシティー&ワークライフバランス研究部長、内閣府少子化危機突破タスクフォース政策推進チームリーダー。専門は人口問題、労働雇用など。

★山梨県の企業子宝率は2.0を上回る企業が10社もあるなど、全国的にみても子育てしやすい職場環境を実現している企業が沢山あります。これは、生活環境も良く、職育近接で子育てしやすい利便性があるためだと考えられます。

★子育てしながら働き続けるために、会社は「コミュニケーション」と「コラボレーション」、社員は「チャレンジ」と「キャリアアップ」。会社と社員がそれぞれ2つの「C」を持つことが重要です。

★人口減少社会では、モデル企業のように、社員とその家族を大切にする会社だからこそ、良い人材が集まり、業績がアップするという連鎖が生まれます。ぜひ、子宝モデル企業の取組を参考に、他の会社にもチャレンジしていただきたいと思います。



# H26年度 やまなし子宝モデル企業のご紹介

企業子宝率2.17  
従業員規模50人未満

## 医療法人社団浩明会 梶山クリニック (甲府市)

### 主な取組内容

- ・育休取得後の復職支援
- ・子供の急病・学校行事等への柔軟な対応
- ・お互いの業務をカバーできる体制



### ●代表者コメント●

当産婦人科は職員全員が女性のため、出産や病気による復職後も安心して働ける環境を整えることが重要です。子育てをしながらイキイキと働く職員は妊婦さんにとっても安心感を与えます！

企業子宝率1.81  
従業員規模50人以上100人未満

## 株式会社 葦崎電子 (葦崎市)

### 主な取組内容

- ・時短勤務制度の導入
- ・独自の扶養手当支給
- ・資格取得費用の負担



### ●代表者コメント●

子ども達は、そのまま社会の未来です。その為、子育てには協力します。また、長い間教育し育てた人材が、自身の都合等により職場を去ることが無いよう相談にのっています。

企業子宝率2.08  
従業員規模50人未満

## 医療法人社団和水平会 原口内科・腎クリニック(甲府市)

### 主な取組内容

- ・家庭状況等に応じたローテーション
- ・お互いの業務をカバーできる体制
- ・親睦行事への子どもの参加



### ●代表者コメント●

より良い医療提供には、スタッフが「仕事も家庭も」大切にしたい職場環境が必要。患者さんにも長年勤務のスタッフは安心感を与えます。今後も子育てスタッフを応援していきます！

企業子宝率1.79  
従業員規模50人以上100人未満

## 昭和建設株式会社 (甲州市)

### 主な取組内容

- ・長期勤続休暇導入・旅費一部負担
- ・資格取得費用負担
- ・子育て中の職員へのサポート



### ●代表者コメント●

家族旅行の補助や勤務時間の調整等、子育てと家庭をバランス良く両立でき、全社員が充実した生活が実感できるよう尽力します！

企業子宝率1.96  
従業員規模50人未満

## 学校法人 貢川幼稚園 (甲府市)

### 主な取組内容

- ・家族等の状況に応じた短時間勤務制度
- ・子供の急病等への柔軟な対応
- ・独自の扶養手当支給



### ●代表者コメント●

子育てをしているからこそ、園児や保護者の気持ちに寄り添うことができる面もあります。それぞれの年代の良さや経験を最大限に活かし、助け合える職場を目指します！

企業子宝率1.74  
従業員規模100人以上

## ジット株式会社 (南アルプス市)

### 主な取組内容

- ・託児所を設置
- ・誕生月従業員と社長の食事会
- ・運動会への家族参加



### ●代表者コメント●

女性に定年まで働いて貰えるよう託児所を設置、育児休暇制度を導入。また、もったいないの心・気づきの心を育む環境作りに励み、未来の子どもたちの幸せを願っています！



アンケート調査への多くの御回答、聴き取り調査への御協力、本当にありがとうございました。



# 地域における男女共同参画実践活動支援事業の事例を紹介します!

## ◆事業の経緯

県では、地域から男女共同参画の実現を推進するため、市町村等と協力して、平成24年度より「地域における男女共同参画実践活動支援事業」を実施しています。平成25年度には、知事が17名の地域男女共同参画推進員（地域推進員）を委嘱し、各地域推進員はそれぞれの地域において、「防災・減災」をテーマに約2年間さまざまな取組を進めました。

各地域における取組事例を参考にいただき、多くの地域で取組を始めていただきたいと思います。

## ◆事業概要（実施期間：約2年間）

※他に山梨県立男女共同参画推進センターの「出前講座」の利用もあります。

〈1年目：平成25年度〉

- ・地域推進員委嘱式及び講演会（基調講演）
- ・第1回研究会（基礎的講座）
- ・第2回研究会（応用的講座）
- ・第1回ネットワーク会議（課題設定）

〈2年目：平成26年度〉

- ・第2回ネットワーク会議（中間報告）
- ※第3回ネットワーク会議（活動報告）は、天候等の事情により中止

## モデル活動地区の取組

### 松山連合自治会自主防災会と連携した初動規定と防災マップの作成

●取組対象地域：富士吉田市 松山地区

●地域推進員名：亀田 徳明 さん

#### 取組概要

- 1 松山連合自治会自主防災会総会において、機能する自主防災組織のあり方をテーマとした「出前講座」を開催した。また、議事の中で初動規定（案）の確認を行った。
- 2 防災マップの作成方法について「出前講座」を開催し、そこで学んだことを生かして防災マップの内容について検討を行い、自主防災会正副会長で組ごとの防災マップを作成した。
- 3 防災リーダー（組長）が消火栓操作訓練を実施した。また、防災マップに一時集合場所と要援護者等を書き加えて配布した。
- 4 今後は、防災マップの未記入項目（危険箇所等）の記入等を自主防災会と連携して行う。



#### 男女共同参画の視点

・消火栓操作訓練や防災マップ作りなど男女の区別なく共同で実施した。

### 男女共同参画による自主防災組織づくり

●取組対象地域：韮崎市旭町 鋳物師屋区

●地域推進員名：相吉 丈雄 さん・山田 七穂 さん

#### 取組概要

- 1 自主防災組織立ち上げについて区総会で承認を受け、初動規定と防災マップを作成した。
- 2 作成した初動規定や防災マップを防災訓練で実際に活用し、見直しを行った。
- 3 男女共同参画によるまちづくりや防災・減災をテーマとした「出前講座」を実施することにより、男女共同参画による防災・減災について学ぶ機会を設け、区民の意識醸成を図った。
- 4 今後は、今回作成した初動規定（地震に対応）に基づいて繰り返し訓練を実施すると共に、土砂災害や雪害、噴火等への対応についても検討を行う予定である。



#### 男女共同参画の視点

・自治会を巻き込み、推進メンバーに女性の役員を入れた。

### 男女共同参画の視点からの女性リーダーの育成 男女共同参画による自主防災会設置

●取組対象地域：甲斐市西八幡 八幡新田1区

●地域推進員名：川口 修滋 さん・宮崎 正成 さん

#### 取組概要

- 1 八幡新田1区定期総会において自主防災会準備委員会の設立承認を受け、その後、準備委員会を設置するとともに役員の選考を行った。
- 2 甲斐市総合防災訓練にあわせて、避難訓練・炊き出し訓練・三角巾使用法訓練・シェイクアウト訓練・防災ボランティアセンター開設訓練を実施した。
- 3 「出前講座」等を実施し、防災・減災に関する知識を身につける機会を地域に設けた。
- 4 今後は、自主防災会としての活動を開始し、初動規定の配布や防災マップの作成・運用等を実施すると共に女性リーダーの育成にも本格的に取り組むたい。



#### 男女共同参画の視点

・地域における男女共同参画の意義や必要性を知ってもらうため、資料の各戸配布や回覧を何回も行った。

## その他の地区の取組

### 大国地区での防災・減災を考える—女性の視点から—

- 取組対象地域：甲府市 大国地区
- 地域推進員名：山本 とし子 さん

#### 取組概要

昼間自宅にいる人を対象として、防災・減災に関する「出前講座」を実施した。それ以外にも、タオルで手縫いの防災ずきんを作るという活動の呼びかけを行い、特に、地区女性部役員に協力を求めることにより、自治会にこの活動を広めた。また、それを実際に着用して大国地区の防災訓練に参加した。防災については、今後も、大国地区自治会等に呼びかけを行っていく予定である。

#### 男女共同参画の視点

- ・防災関係者には女性が少なく、女性の数を増やすことが課題であるということを取組を通じて改めて認識した。

### 危機管理の情報提供

- 取組対象地域：甲府市住吉地区 曙自治会
- 地域推進員名：中込 喜利江 さん

#### 取組概要

防災・減災について関心を持ってもらうため、組長会等さまざまな機会に地域で呼びかけを行った。この結果、市の防災リーダー指導育成研修会に参加する方も現れ、防災・減災に関心を持ってもらう第一歩とすることができた。これ以外にも手縫いの防災ずきんを作るという活動も実施した。今後の活動としては、防災・減災に関する講演会の実施や防災マップの作成等を予定している。

#### 男女共同参画の視点

- ・手縫いの防災ずきんについては、女性が集まり、集会所で防災ずきんを作るという活動を行った。

### 富士吉田市立青少年センターの防災対策

- 取組対象地域：富士吉田市 上吉田
- 地域推進員名：桑原 かほる さん

#### 取組概要

市の防災担当課の協力により、防災に関する講座を3回実施した。3回の講座では、災害・防災に関する基礎知識の学習や応急救護の訓練、避難訓練等を実施した。また、この講座により、従来の危機ガイドラインに不足事項があることが判明したので、危機ガイドラインに追加の記載を行った。

#### 男女共同参画の視点

- ・避難訓練の際に女性の視点を導入することが必要であり、これが課題であるということを取組を通じて認識した。

### コミュニティカフェでの防災活動、自治会における自主防災組織

- 取組対象地域：富士吉田市 ときわ台
- 地域推進員名：宮下 和美 さん

#### 取組概要

市の防災担当課の協力により、2つのコミュニティカフェにおいて防災講話等を実施し、利用者が防災活動に取り組むきっかけとすることができた。自主防災組織については、まだ立ち上げには至っていない。だが、「防災士」の資格を取得したことにより、今後、これを生かし、また、他の「防災士」との連携を図りながら、自主防災組織の立ち上げを目指したい。

#### 男女共同参画の視点

- ・自治会において女性の意見を取り入れてもらえるように呼びかけを行った。今後も、呼びかけを継続していきたい。

### 地域初動規定の策定

- 取組対象地域：山梨市 上神内川6区
- 地域推進員名：河野 勝恵 さん

#### 取組概要

災害時に皆が自主的に安全な避難行動をとることができるようにするため、地域初動規定を策定し、これを区内全戸に配布した。また、市の協力により、男女共同参画の視点から地域の防災・減災を考える講演会も開催した。今後は、自主防災会の組織化、防災訓練の実施、災害時の持出品・備蓄品チェックリストの作成と全戸配布を目指して、区役員の協力をいただきながら取り組んでいきたい。

#### 男女共同参画の視点

- ・弱者（要援護者）を有する家庭について、災害時にどのような対応をすべきかを考える際に、男女共同参画の視点を意識した。

## 子育て中の皆さんが考える「減災」に関するアンケート調査

- 取組対象地域：甲斐市
- 地域推進員名：中島 孝子 さん

### 取組概要

①乳幼児健診時の保護者、②児童館・幼稚園に通う子どもの保護者、③愛育会研修参加者に対して、減災に関するアンケートを実施した。このアンケートは、女性が防災・減災活動に関心を持つきっかけとなったと思われる。今後、市男女共同参画推進委員会が“男女共同参画の視点を取り入れた減災活動への取り組み”について市・市議会へ提言する予定なので、市男女共同参画推進委員会と連携し、アンケート結果を提言書に組み込みたい。

### 男女共同参画の視点

- ・今回、アンケートを保護者に回答してもらったことで、特に、母親に災害に対する意識を持ってもらうことができた。

## 富竹新田3区常要マップ(造語)の作成

- 取組対象地域：甲斐市 富竹新田3区
- 地域推進員名：坂下 嘉和 さん

### 取組概要

富竹新田3区の災害リスクについては、①大地震及びその複合火災、②集中豪雨による内水氾濫を重視した。速やかに非常時に対応するためには、普段の情報資料がそのまま活用できることが必要であるとの考えから、住宅地図を発展させた常要マップ(造語)を作成し、備品や要支援者の支援組織図等についても一目で分かるようにした。今後は、組長・役員会議等を通じてこれを区民と共有することで防災意識の向上を図るとともに、まち歩きによる潜在リスクの掘り出し等も行う予定である。

### 男女共同参画の視点

- ・地域活動における女性の参画を更に重視したい。

## 緊急時トイレ利用の普及

- 取組対象地域：中央市 リバーサイド第2自治会
- 地域推進員名：秋山 みなみ さん・細川 道惠 さん

### 取組概要

災害時における避難所のトイレの設置・使用方法について学習し、一升瓶のケースで簡易トイレを製作した。そこで学んだことをもとに、中央市男女共同参画推進フォーラムにおいて報告・周知を行った。また、自治会長と話し合い、災害時に衛生班として活動することとした。今後は、災害時に必要な物についても自治会長と話し合い、防災能力の向上を図りたい。

### 男女共同参画の視点

- ・市で開催されたイベントの際に、中央市男女共同参画委員会として、防災用品に関するボードアンケートを行った。

## 自宅から避難所までの防災マップの作成

- 取組対象地域：市川三郷町 三珠地区
- 地域推進員名：望月 良美 さん

### 取組概要

県民センターの協力により防災研修会を実施し、防災について基礎的な学習を行うと共に防災マップ作りも実施した。今回は、自宅から避難所までの防災マップの作成はできなかったが、今後の実施を目指したい。

### 男女共同参画の視点

- ・地域をよく知っている女性が防災マップ作成に参加することで、女性の視点から防災マップの作成を行うことができた。

## 災害時初動マニュアル・防災マップの作成と訓練の実施

- 取組対象地域：昭和町 築地新居区
- 地域推進員名：磯部 幸廣 さん・三井 正 さん

### 取組概要

地震災害を想定し、①災害時初動マニュアルや②防災マップを作成し、①には、災害時に個人や近隣住民、自主防災組織がとるべき行動を分かりやすく記載した。また、近隣住民が速やかに安否確認や共助による災害対応を行うことができるよう、新たに組単位の集合地を決め、①と②に記載した。それ以外にも、①に基づいた防災訓練や住民参加の防災まち歩きを実施し、啓発活動を行った。今後は、防災まち歩きの結果を②防災マップに反映させ、①とともに区内各戸に配布する予定である。

### 男女共同参画の視点

- ・男女共同参画を基本として住民が協力し合う防災体制を構築することを意識した。
- ・防災訓練・防災まち歩きに男女問わず参加することで、住民同士のつながりが強くなった。

## 平成26年度からライフデザイン研修講師派遣事業がスタートしました!

山梨県では、平成26年度から、主に若年の男性等の働き方の見直しや、結婚・家事・育児に対する意識改革などを図るための研修会等へ講師を派遣する事業を行っています。  
本事業を活用した団体とその内容について紹介します。 (実施日順に掲載)

### 国立大学法人山梨大学女性研究者支援室(※)

※ 山梨大学「女性研究者支援室」は平成27年1月より「男女共同参画推進室」に改編しました。

日 時：平成26年10月8日(水)

講演内容：ワーク・ライフ・バランスの啓発

演題「学生のためのオイシイ“職”生活の話」

講 師：滝村雅晴氏 (㈱ビストロパパ代表取締役)



### 山梨県公立小中学校事務職員研究会

日 時：平成26年10月23日(木)

講演内容：ワーク・ライフ・バランスの啓発

演題「ワーク・ライフ・バランスについて

～時間管理術による働き方の見直し～」

講 師：小林和美氏 (社会保険労務士小林和美事務所)

### フルーツ山梨農業協同組合

日 時：平成26年12月3日(水)

講演内容：婚活セミナー 男性編

テーマ「婚活の現状を知り、  
結婚への近道を考える」

講 師：板本洋子氏

(NPO法人全国地域結婚支援センター代表)



### 株式会社石友

日 時：平成27年1月5日(月)

講演内容：ワーク・ライフ・バランスの啓発

演題「働き方の改革～ワークとライフのハッピー  
バランスをめざそう～生活も仕事も大切に  
する人生について考えてみよう～」

講 師：安藤哲也氏

(NPO法人ファザリング・ジャパン代表理事)

### NPO法人山梨県ボランティア協会

日 時：平成27年2月18日(水)

講演内容：ワーク・ライフ・バランスの啓発

演題「これからの共助社会に必要な  
市民の三面性＝職業人、家庭人、地域人」

講 師：渥美由喜氏

(内閣府少子化危機突破タスクフォース政策推進  
チームリーダー (民間シンクタンク研究部長))



# 我が社のワーク・ライフ・バランス Vol.7

国立大学法人 山梨大学 (甲府市)

ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業等を紹介します!

企業概要	所在地	〒400-0016 山梨県甲府市武田四丁目4番37号		
	TEL	055-252-1111	FAX	055-220-8798
	職員数	【甲府キャンパス】 835名 (内、男性542、女性 293名) 【医学部キャンパス】 1,736名 (内、男性626、女性1,110名)		
	出資金	-		
	事業内容	教育、学習支援業		
	その他	<p>山梨大学は、「地域の中核、世界の人材」をキャッチ・フリーズに地域の要請に応えることができる人材、世界を舞台に活躍できる人材の育成を目指しています。また、男女共同参画推進室が設立されたことで、一層の働きやすい環境の整備を進めます。</p> <p>平成24年度 女性研究者支援室 設置 平成25年度 山梨県男女共同参画推進事業者等の表彰受賞 平成26年度 男女共同参画推進室 設置 (女性研究者支援室改編)</p> <p><a href="http://www.conohana.yamanashi.ac.jp/">http://www.conohana.yamanashi.ac.jp/</a></p>		

## ● ワーク・ライフ・バランスに取り組む経緯

山梨大学では、平成22年2月に男女共同参画推進本部を設置したことを機に、全学的な男女共同参画への取り組みを開始しました。平成24年には、文部科学省が実施する「女性研究者研究活動支援事業（一般型）」へ採択されたことから、同年10月に「女性研究者支援室」を開設し、ライフイベント中の女性研究者への研究活動支援や、産休・育休からの復帰支援制度の策定、学内のワーク・ライフ・バランス促進の雰囲気づくりなどを行ってきました。平成27年1月には女性研究者支援室を改編して「男女共同参画推進室」を立ち上げ、環境整備や情報発信、相談体制などの拡充を開始しました。

## ● 我が大学の取組内容・考え方

男女共同参画推進室では、本学に所属する全ての人にとって働きやすい、学びやすい環境であるよう、主に次のような活動を行っています。

1. ライフイベント中の研究者（※1）が研究活動を継続するための、研究サポーターの派遣
2. 女性研究者の産休・育休からの復帰支援制度の運用
3. 社会福祉法人 宮前保育園との連携による、一時預かり保育、病児・病後児保育、休日保育の実施
4. 交流スペース、ワーク・ライフ・バランス等に関する相談窓口（相談室）の運営
5. ホームページ（英語版含む）、ニュースレター、冊子などによる情報発信
6. 意識醸成のための講演会、セミナー等の実施
7. 大学院の講義科目として「ワーク・ライフ・バランス特論」の開講
8. 学内ニーズ調査の実施
9. 工学部同窓会組織と連携した、同窓生への情報発信

※1：ライフイベント（妊娠・出産、育児、介護）中の女性研究者およびそうした女性研究者を配偶者とする男性研究者

## ● ワーク・ライフ・バランスに取り組んだ成果など

女性研究者における研究の停滞を防ぐことにつながっているほか、学内において、ライフイベントに関する話題を気軽に話せる環境づくりや、若い学生たちが自らの将来を考える機会の提供もできました。また、家族を持つ、特に博士課程に在籍する留学生からは、外国である日本でのライフイベントは想像以上に大変であるとの相談も寄せられるようになりました。今後は、性別や年齢だけでなく、国籍も含めたダイバーシティ（多様性）への対応が求められてくると感じています。



交流スペースでの交流会の様子



# チャレンジインタビュー

Vol.57

## 【働く】チョークアートの魅力を 1人でも多くの人に伝えたい!

KAORIさん チョークアーティスト (甲斐市)



### ■ チョークアートとの出会いと渡豪

ロンドンへの語学留学後、英会話講師をしていましたが、そのうちに再び海外で何かを学んでみたいという思いが強くなってきました。そこで、海外で何を学ぶことができるかを雑誌で調べているうちにチョークアートに出会ったんです。チョークアートは、板(黒色が一般的)に特殊なチョークを使って絵や文字を描くアートですが、作品を一目見た瞬間、その色鮮やかさに他にはない魅力を感じ、すぐに挑戦してみたいと思うようになりました。その頃、たまたまテレビでチョークアートを取り上げている番組を見たことも挑戦を後押しすることになりました。

その後、オーストラリアに渡ってチョークアートのスクールに通い、チョークアートについて基礎から勉強して、プロコースを修了しました。一時帰国を経て、再びオーストラリアに渡り、ティーチャーコース(講師養成コース)も修了しました。

### ■ チョークアートを山梨に広めていきたい!

オーストラリアでチョークアートについて学んだ後、しばらくは日本で会社員をしていましたが、チョークアートの魅力をもっと知ってもらいたいという思いから、チョークアート作品の注文を受けるようになりました。例えば、プレゼント用のボードやお店のメニューボード等をチョークアートで制作してきました。過去に注文してくれた人が、わざわざ自分を探してもう一度注文をしてくださったことがあり、こんなときには、チョークアーティストとしての仕事にやりがいを感じます。

また、チョークアートを知ってもらうため、様々なイベントに作品を出品したり、イベントでチョークアート体験教室を実施したりしてきました。

更に、多くの人にチョークアート作品を作ってほしいという思いから、チョークアートの教室を開いています。チョークアートのよいところは、絵を勉強したことのない人でも、練習をすれば比較的簡単に作品を作ることができることにあります。教室では、幼稚園生から年配者まで幅広い年齢の方が、チョークアート作品を楽しんで制作しています。教室で教えていると、色の組み合わせ

等にそれぞれの人の個性が表れていて、講師である自分自身も刺激を受けます。それぞれの人の個性を大切にしながら、チョークアートの魅力をたくさんの人に伝えていきたいと思っています。

### ■ これからのチャレンジ

今後については、もっと山梨にチョークアートを広めていきたいと思っています。チョークアートはメニューボードが発祥と言われていることもあり、山梨のいろいろなお店でチョークアートを見ることができるようになれば嬉しいと思います。

作品に関しては、色鮮やかな作品だけではなく、白と黒だけを用いた作品も作っていきたくて考えています。色鮮やかなチョークアート作品も魅力的ですが、それとは違った魅力を、チョークアートで表現できたらいいなと思っています。

また、山梨にはワインやお菓子等多数の特産品があるので、それらのラベルやパッケージの絵柄をチョークアートで作る等、様々なことにこれからもチャレンジしていきたいと考えています。

#### KAORIさんのこれまで

ロンドンに1年間語学留学した後、英会話講師を務める。

再び海外で学びたいと思うようになり雑誌を見ていたところ、チョークアートに出会い、他にはない魅力を感じる。

チョークアートを学ぶため、オーストラリアに渡る。チョークアートのスクールに通い、プロコースを修了。一時帰国を経て、再度オーストラリアに渡り、ティーチャーコースも修了。

帰国後、会社員を経て、チョークアート作品の注文を受けるようになる。

現在、チョークアート作品の注文を受けると共にチョークアート教室も開いている。また、イベントへの出品等も行っている。



#### ●これからチャレンジする女性へのメッセージ●

アンテナを立て、新しいものを吸収できるような態勢を常に整えておくことが大切だと感じています。そして、様々なものに接する中で、自分が少しでも気になったものについては、調べたり、挑戦したりして行動に移してほしいと思います。

自分が思っている程、自分の世界は広くないものです。アンテナを立て、新しい挑戦への第一歩を模索し続けることによって、自分の視野が広がり、自分が成長することができると思います。

Vol.56以前のインタビューは、やまなし女性の応援サイト  
<http://www.pref.yamanashi.jp/challenge/interviewlist.php>をご覧ください。

# 女性に対する暴力をなくす運動

県では11月12日から25日の『女性に対する暴力をなくす運動』期間に合わせ、DVのない社会の実現のために毎年各種の事業を実施しています。

プロジェクト  
その1

## DV防止啓発講演会を開催しました!

### 『DV・モラルハラスメントとは～夫婦・恋人間で発生している社会問題～』

県では、多くの方にDV防止の必要性や被害者支援について知っていただくことを目的に毎年講演会を開催しています。

今年度は、DV・デートDVは誰にとっても身近な問題であることを認識するために、また被害者がトラウマから回復するためには、周囲の人がどのようにケアしていくべきかなどについて、NPO法人レジリエンスの西山さつきさんをお招きし、講演をいただきました。多くの参加者から、DVとはどのようなものなのか初めて知った、被害者支援に有効なお話を聞くことができた等大変好評をいただき、充実した講演会となりました。



プロジェクト  
その2

## パープルリボンの募集と企画展示を行いました!

「DVは絶対にダメ!」「被害者を応援したい!」という思いを込めたパープルリボンを県民の皆さまから募集したところ、多数のリボンを送付いただきました。

いただいたリボンで作品を作り、DVに関する情報とともに山梨県立男女共同参画推進センターに展示しました。



プロジェクト  
その3

## パープルライトアップを実施しました!

11月12日及び25日、商業施設ココリ様にご協力をいただき、パープルライトアップを行いました。また今年度は県庁防災新館周辺の立木でも実施しました。

全国的な“パープルライトアップ”運動には、女性に対する暴力の根絶と、被害者に対して「あなたは一人ではない!相談をしてください。」というメッセージが込められています。



# 男女共同参画事業の体験レポートです。

## 『日本女性会議2014札幌』に参加しました。



### ～未来の景色は、わたしたちが変える～

- 10月17日～18日・北海道札幌市において開催されました。
- 初日：内閣府の基調報告に続いて、「女性の活躍促進」「高齢社会と男女共同参画」「女性に対するあらゆる暴力の根絶」「ワーク・ライフ・バランス」「経済的自立・起業」等計10の分科会に分かれ、パネリストから様々な事例の紹介や問題提起が行われました。  
特に「女性の活躍促進」分科会では、「働くオンナのサバイバル」と題して、作家の上野千鶴子さんの基調講演の後、各分野の第一線で活躍する女性4人のパネリストによる意見交換も行われ、大変熱気にあふれた分科会となりました。
- 2日目：大平まゆみさん（札幌交響楽団コンサートマスター）が奏でるヴァイオリンの音色に魅せられた後、記念講演では山口香さん（筑波大学体育系准教授）から、ご自身の体験を元に、男性社会の風潮が色濃く残る柔道界で、いかにして女性の活躍の場を切り開いたかについて、力強いメッセージをいただきました。
- 山梨県から：女性団体協議会を中心としたグループや男女共同参画推進センターが参加を募った市町村の推進委員会のメンバー等多数の方が参加されました。
- 大変内容の濃い2日間で、この貴重な経験を今後の男女共同参画の推進に活かしていきたいと思えます。

## 「NVEC男女共同参画推進フォーラム」に参加しました。

行政、女性団体、大学や企業において、ダイバーシティ、女性の活躍を推進する担当者が一堂に会し、研修受講や、ネットワークづくりを図るための「男女共同参画推進フォーラム」が国立女性教育会館(NVEC)で開催されました。今年度は8月29日～31日の3日間にわたり開催され、今回参加した甲府市男女共同参画推進委員会に感想を伺いました。

### ～ひとりひとりの活躍が社会を創る～

### 甲府市男女共同参画推進委員会



(広大な自然に囲まれたNVECの施設)

今年度第4期目に入る甲府市男女共同参画推進委員会(男13名・女29名・計42名)では、初めて男女共同参画に関わった委員も多く、今回、一人でも多くの委員に参加してほしいと考えていました。(当日の参加者22名)

私たちの参加した第1日目には、広大な自然に囲まれたNVECの施設や、こで行われている様々な活動の雰囲気を経験することができました。女性リーダー会議「女性リーダーが社会をどう変えるか」と題して行われたパネルディスカッションでは、**意思決定の場に女性の参画が必要なこと・女性自身の意識改革が大切であること・リーダーシップは多様であってよい等**ということを実感しました。

その後、来年度にワークショップを開催することを視野に入れ、各々が分担していくつものワークショップに参加しました。実践している方々の言葉に重みを感じ、多くの委員から「参加してよかった」との感想が出ました。大変充実したフォーラムに参加できたと思うと同時に、今回学んだ活動等を今後の地域啓発の取組に活かしていきたいと考えています。

甲府市男女共同参画推進委員会 委員長 矢崎孝子

# 県からのお知らせ

子育て応援・男女いきいき宣言登録企業を募集しています！  
現在、登録企業は178社です。

県では、右のいずれかの取組を行っている企業を「子育て応援・男女いきいき宣言」企業として登録し県のホームページ等で広く紹介・PRしています。

H26年度も多数の御応募をいただきありがとうございました。今後も、多くの皆様からの応募をお待ちしております。

- 1 仕事と家庭が両立できる職場環境をつくるための取組
- 2 社会全体で子どもや子育てを支えるための取組
- 3 男女がともにいきいきと活躍するための取組
- 4 その他の取組

詳しくはこちら

▶ <http://www.pref.yamanashi.jp/kenmin-skt/30054557987.html>

## 「男女共同参画啓発パンフレット」をご覧ください！

「男女共同参画社会」とは？男女共同参画が実現すると家庭・職場・地域はどう変わる？などについて1人でも多くの方に知っていただくために、啓発パンフレットを作成しました。各市町村・図書館・学校等に送付していますので、是非一度ご覧になってください！



『やまなし女性の応援サイト』  
御活用ください！

- やまなし女性の応援サイトでは、チャレンジする女性に役立つ講座やイベントの情報、支援機関の紹介、現在チャレンジしている方のインタビュー記事を掲載し、チャレンジするあなたを応援します！

詳しくはこちら

▶ <http://www.pref.yamanashi.jp/challenge/index.php>

## 編集後記

今年度も残りわずかとなりました。

今回は今年度からスタートした「やまなし企業子宝率調査」を特集しました。モデル企業の取組等、参考にさせていただければ幸いです。

## 編集・発行

### 山梨県県民生活・男女参画課

〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1 Tel. 055-223-1358 E-mail: kenmin-skt@pref.yamanashi.lg.jp

### 山梨県立男女共同参画推進センター

●ぴゅあ総合: 〒400-0862 甲府市朝気1-2-2 Tel. 055-235-4171

●ぴゅあ峡南: 〒409-2305 南巨摩郡南部町内船9353-2 Tel. 0556-64-4777

●ぴゅあ富士: 〒402-0052 都留市中央3-9-3 Tel. 0554-45-1666